

## 第 21 回「保育実践研究」募集要項

### 1. 目 的

日本保育協会では、保育の専門性の向上を図るため、日々の保育を振り返り、検証していく保育実践に関する研究を募集します。応募された研究は審査を経て表彰し、報告集やホームページ、「保育界」等で公表することにより、今後の保育内容の向上と充実に資することを目的とします。

**2. 主 催** 社会福祉法人 日本保育協会（日本学術会議協力学術研究団体）

**3. 応募資格** 日本保育協会会員施設の施設長、職員（個人研究、施設内グループ研究、地域のグループ研究等）及び保育科学研究所研究会員（保育所等との共同研究を含む）  
※ 対象外：法人の理事長（但し施設長を兼務し、施設長としての実践研究は可）、本研究を委託した外部講師等

### 4. 募集内容および部門

日常の保育実践を振り返る中でみつけた課題について、なぜ関心を持ったか、解決するためにどのような仮説を立てたのか、どのように取り組んだのか、どのような発見、気づきがあったかを、できるだけ掘り下げてください。必ずしも問題解決の成果や成功例を求めているわけではなく、課題の発見とその解決に向けたプロセスを指針等をもとに、具体的にまとめてください。

#### （1）課題研究部門

以下からテーマを選び、課題や取り組みについてまとめてください。

##### ① 人との関わり

子どもが人への信頼感や主体性、社会性を形成していくために人間関係は大切です。子どもと人との関係性をつないでいくための関わりについて取り組みをお寄せください。

##### ② 遊びと学び

遊びや日々の生活においても子どもが学ぶ機会がたくさんあります。日常的な遊びや生活が学びにつながっていくことについての取り組みをお寄せください。

##### ③ 子どもの健康・安全

施設での保健活動、感染症対策、事故防止対策、防災等について、具体的な取り組みの内容をお寄せください。

#### （2）自由研究部門

テーマは自由です。保育実践について、下記の例に限らず、幅広いテーマで課題や取り組みをまとめてください。

- （例）
- ・施設での実践事例（特別な配慮の必要な子どもの保育、乳児保育での課題、苦情解決の取り組み、保育環境向上のための取り組み（物的、人的）、入所（園）の際の配慮、保育日誌の工夫・改善等）
  - ・地域における公益的な取り組みの事例（子育て家庭への支援、地域との連携など）

### 5. 審査において評価する内容

応募作の評価は企画審査委員会が行います。目的や課題を明確に示し、それに対しどのように取り組んでいったかという経過等について、事実を基に客観的・具体的に記述され、その結果に対して考察がなされていることが大切です。また、問題提起が明確か、論旨が通っているか、オリジナリティはあるか、データは適切か等についても評価を行います。

## 6. 応募要領

- (1) 応募作は学会・保育団体・専門誌等に未発表のものに限ります。既に他団体の企画に応募した、いわゆる重複論文または、同じ内容についての応募は禁じます。
- (2) 論文や文献等を引用した場合は、出典と引用箇所を明記してください。なお、業務に関わる実践研究は所属長及び関係者の了解を得てください。
- (3) 研究本文では、インターネット上の動画閲覧を指示することは禁止します。研究に動画がどうしても必要な場合には、動画の内容を文章にしてください。
- (4) 個人情報やプライバシー等の倫理面の取り扱いに配慮してください。
- (5) 受賞作は、報告集・保育界・ホームページに掲載するため、子どもの写真は、提出の前に保護者の承諾を得ることと併せて、公表することに対する検討を十分に行ってください。
- (6) 研究本文の書式については、要項の4ページに指定しています。  
なお、この条件に合わないものや分量を超える場合は、評価の減点対象となります。
- (7) 要項3ページにある別紙「研究要旨」1部（様式は協会ホームページよりダウンロード可能）と、印刷した本文1部、同様のデータを保存したCD-ROM等をお送りください。
- (8) 図・表・写真は挿入箇所が分かるようにしてお送りください。
- (9) 提出物の返却はいたしません。また、募集要項の目的以外には使用しません。
- (10) 企画審査委員会において選定された受賞作については、報告集、機関誌「保育界」、本協会ホームページに掲載いたします。その際の著作権は、日本保育協会に帰属します。  
当協会の研修会等で研究発表を依頼する場合がありますのでご協力をお願いいたします。
- (11) 執筆にあたっては、「研究レポートの書き方」（『保育界』に掲載）を参考にしてください。

## 7. 表彰

企画審査委員会において選定された研究については、部門を問わず下記の表彰を行います。

- ・最優秀賞（賞状と副賞10万円）
- ・優秀賞（賞状と副賞5万円）
- ・優良賞（賞状と副賞1万円）
- ・奨励賞（図書カード5千円分）

## 8. 応募方法

応募要領の内容を確認の上、研究本文と記憶媒体は下記の送付先までお送りください。

- (6. 応募要領(7)を参照)

## 9. 締め切り

〈会員から直接本部へ提出〉 2026年11月10日(火) 必着

## 10. 問合せ先・応募書類等送付先

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-2 麹町一丁目ビル6階

社会福祉法人日本保育協会 企画情報部

TEL: 03-3222-2114 FAX: 03-3222-2117

E-mail: sato@nippon.or.jp

## 11. 応募にあたって

この事業はあくまで保育実践の研究について募集するもので、保育内容の評価をするものではありません。不明な点などは、問合せ先までご連絡ください。

## 第21回「保育実践研究」要旨

種別	1. 課題研究部門	2. 自由研究部門
テーマ	<p>※ 課題研究部門については、要項にある課題番号と課題テーマもあわせて記入してください。</p> <p>※ 簡潔で、本文の内容が分かるテーマにしてください。</p>	
研究者名 (代表者名)		職 種
施設名		施設長名 <span style="float: right;">⑩</span>
所在地	〒	支 部 名
電話・FAX E-mail	電 話 _____ FAX _____ E-mail _____	
研究の 概要	(400字程度で動機・目的、取り組みの内容、結果等についてお書きください。)	
申込の前に チェック	<input type="checkbox"/> 研究本文は、募集要項4ページの書式になっていますか？ <input type="checkbox"/> 子どもが特定される写真の使用は、保護者に許可を得ていますか？	

※この要項・様式は、日本保育協会HP>保育科学研究所>保育実践研究のページからダウンロードできます。

## 6. 応募要領の(6)について

### <研究本文の書式>

- 原稿は必ずマイクロソフトのWordで作成すること。
- A4判・横書き・一段組みとする。
- 用紙の余白は、上下左右各25mm
- フォントは、研究名・施設名・氏名・見出しは「MSゴシック」、それ以外は「MS明朝」。
- 文字サイズは研究名・施設名・氏名は11ポイント、見出し・本文は10.5ポイント。
- 1ページを40字×40行とし、分量は写真・資料を含めて10ページまで。
- 本文には、研究タイトル・施設名・氏名を必ず記載。
- 文体は常体（である体）とする。
- 研究本文の脚注・注記は、番号を付けて文末の参考文献の前にまとめて記載する。

※なお、この条件に合わないものや分量を超える場合は、評価の減点対象となります。

### 書式例

研究名：「〇〇における〇〇の〇〇」

施設名：〇〇保育園

研究者名：〇〇〇〇

1. はじめに

- ・ A4判・横書き・一段組み
- ・ 用紙の余白：上下左右各25mm
- ・ 1行の文字数：40字
- ・ 1ページの行数：40行

- ・ 研究名、施設名、研究者名は必ず記載する
- ・ 「MSゴシック」、11ポイント

- ・ 見出しは「MSゴシック」10.5ポイント

- ・ 本文は「MS明朝」、10.5ポイント
- ・ 文体は常体（である体）とする

※ 保育界2026年4月号、5月号に「研究レポートの書き方」を掲載しています。取り組む際に参考にさせていただく内容となっておりますので、ぜひ一読ください。